

平成21年5月25日

韓国政府：自転車生産復活を模索

－5年以内に三大自転車生産国の一つに－

韓国では政府、自転車業界の間で通貨危機以降衰退してしまった国内での自転車生産を復活させようという動きが起きているようだ。

韓国経済新聞によると李明博大統領は5月3日、慶尙南道昌原市イミョンバクで開かれた第1回大韓民国自転車フェスティバルで「韓国の自転車は輸入に依存しているが、5年以内に三大自転車生産国の一つになりたい。これからは自転車利用促進キャンペーンに加えて関連産業を発展させる必要がある」というスピーチを行った。その理由として「環境に配慮して成長する時代なので環境技術に関する韓国独自の技術を作り出し、低炭素成長時代において経済面だけではなく、実質的に人類に貢献する国になりたい」と説明した。

韓国では2000年以降の自転車ブームで国内市場が急拡大したが、通貨危機で国内生産基盤は既に崩壊しており、三千里、ALTON、COREXなどの大手完成車メーカーは中国の深圳や天津などの自社工場製品もしくは他社によるOEM製品を輸入しているのみである。2008年実績で主に中国、台湾などから193万台の完成車を輸入している。また、昨年は急激なウォン安でそれらの完成車メーカーは大きな打撃を受けた。

韓国政府と自転車業界は3日、昌原コンベンションセンターで知識経済部のイ・ユンホ大臣の主催で懇談会を開き、現在1万5千台の公共自転車を2011年までに約6万5千台へと4倍以上に拡大することを決定、さらに、30～80万ウォン台の高級自転車の国内生産基盤を整えるため、大徳研究開発特区テドクが保有している先端技術を活用し、超軽量高付加価値部品の開発することも決定した。

知識経済部の関係者は「50万ウォン前後の高級自転車を国内で生産すれば、年間20万台程度の需要があるだろう。全羅南道順天市チョルラナムドスンチョンのテクノパークに入居しているベンチャー企業が開発したマグネシウム素材を活用して超軽量部品を生産できるよう支援していく」と述べたという。

韓国政府は今年1月、雇用創出と環境配慮型社会構築を目的として2009年から2012年までの4年間で総額50兆ウォンを投入するグリーンニューディール事業を策

定、その一環として1,297キロに及ぶ自転車専用道の建設を計画するなど、環境に自転車を結びつける事業に力を入れている。

韓国経済新聞の記事は下記アドレスにても参照可能

<http://www.hankyung.com/news/app/newsview.php?aid=2009050330301&type=1&nid=002&sid=010101&page=4>

以上

(上海事務所)



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。